

地球温暖化の環境影響に ついてのコメント

キャノングローバル戦略研究所(CIGS)

杉山大志

2018年10月1日

於 CIGSシンポジウム

温度上昇予測の幅は大きい

Table 1: Evolution of equilibrium climate sensitivity estimates in the last 35 years and the range for transient climate response since 2001

	ECS Range (°C)	ECS Best estimate (°C)	TCR Range (°C)
Charney Report 1979	1.5–4.5	3.0	
NAS Report 1983	1.5–4.5	3.0	
Villach Conference 1985	1.5–4.5	3.0	
IPCC First Assessment 1990	1.5–4.5	2.5	
IPCC Second Assessment 1995	1.5–4.5	2.5	
IPCC Third Assessment 2001	1.5–4.5	None given	1.1–3.1 ^a
IPCC Fourth Assessment 2007	2.0–4.5	3.0	1.0–3.0
IPCC Fifth Assessment 2013	1.5–4.5	None given	1.0–2.5

^aRange based on models only.

- ・「2度を十分下回る」というパリ協定の目標は、「温度上昇予測がこの上限の場合でも2度を下回るようにする」、という意味。
- ・だがこれは、どの程度信じるべき予想だろうか、というのがPeiser氏の問いかけ。

暑い異常気象は増えるが寒い異常気象は減る

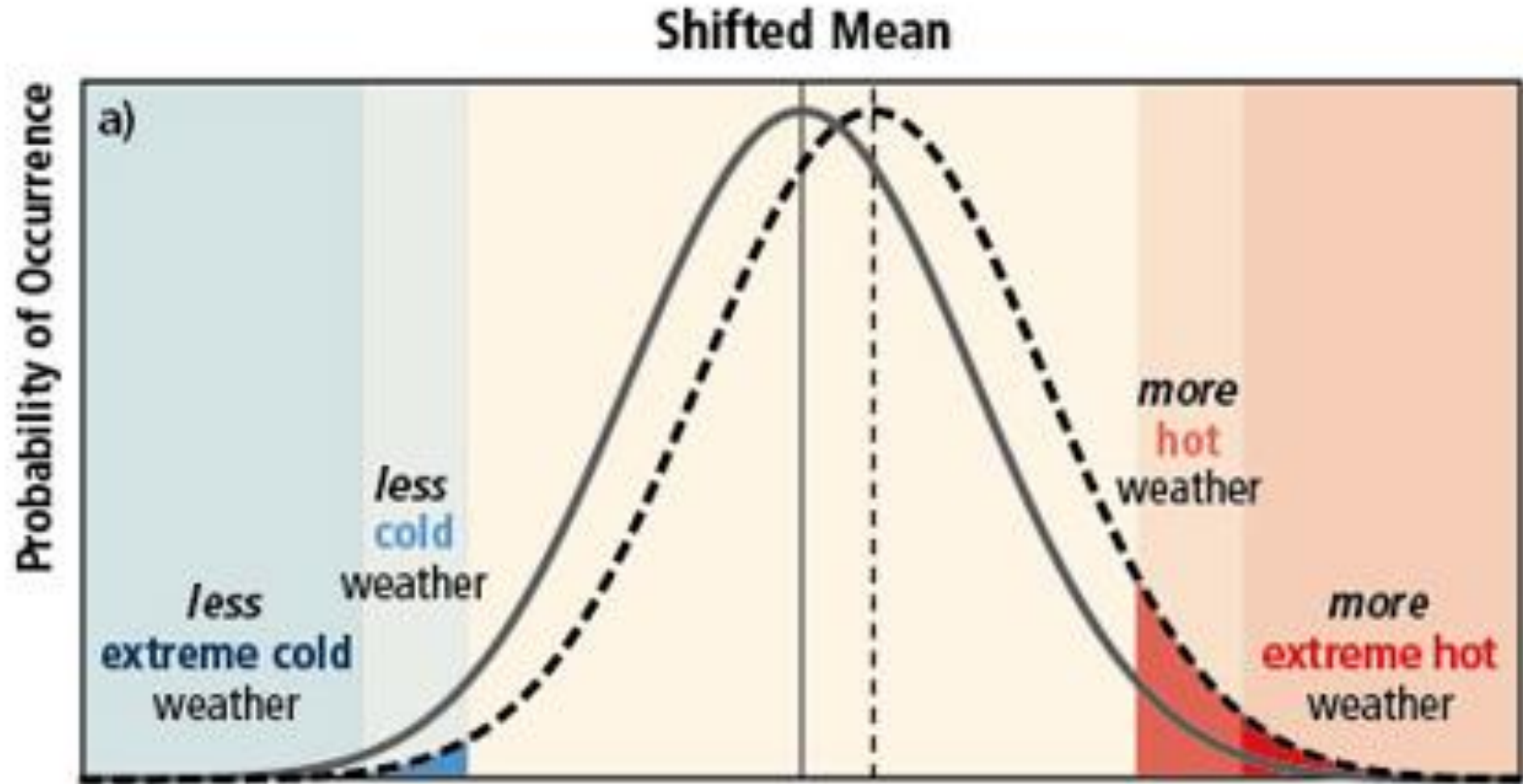
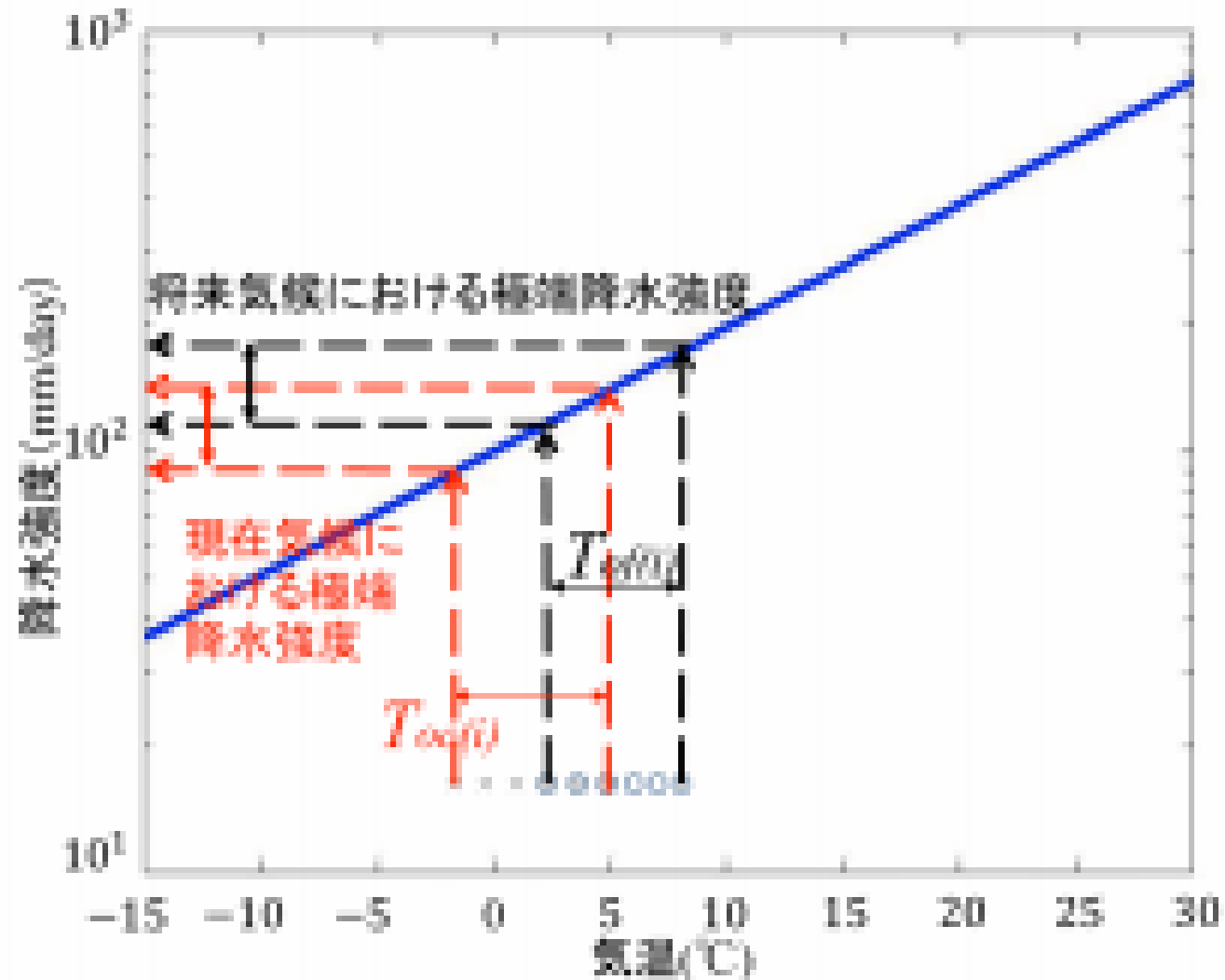


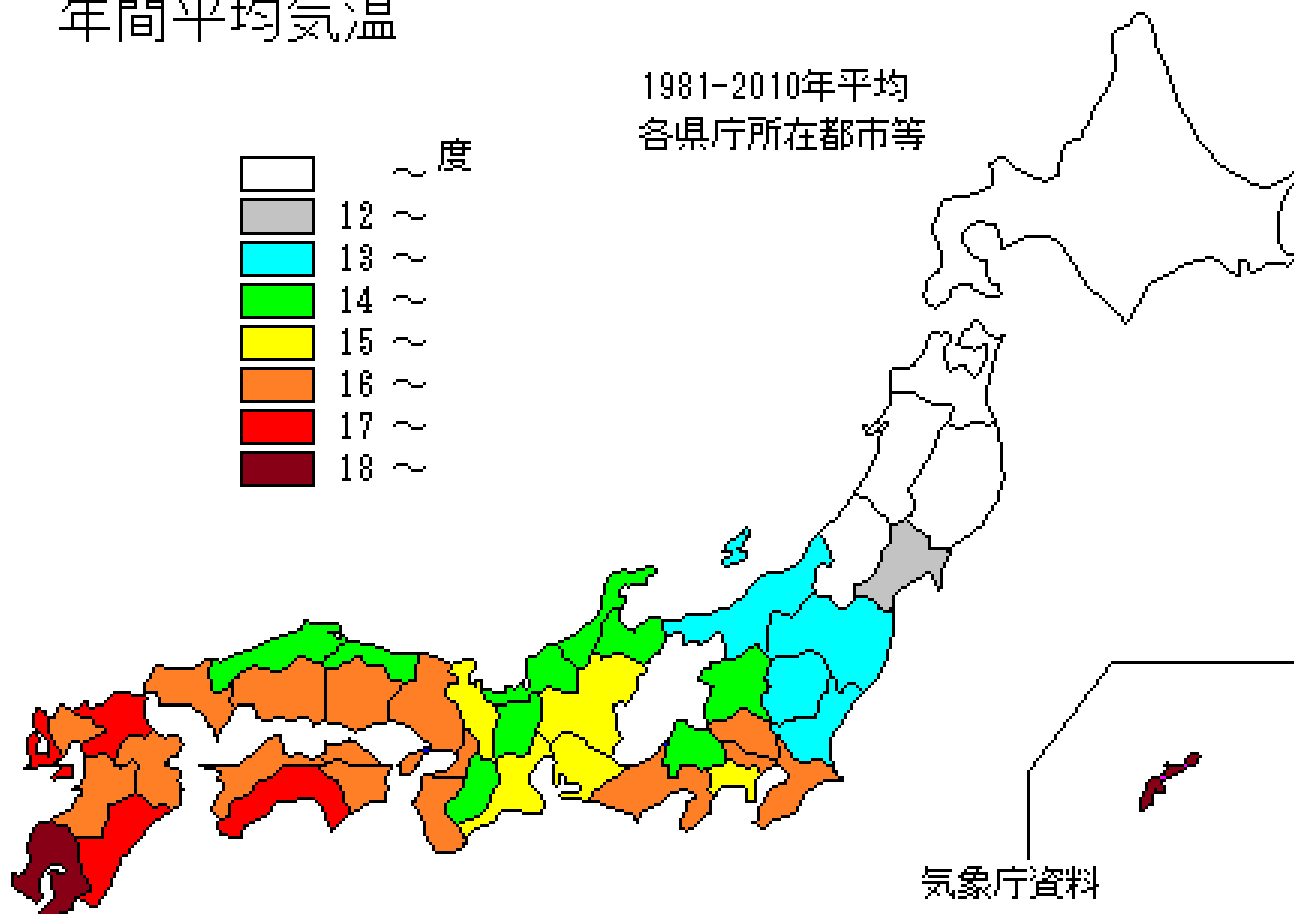
Figure SPM.3 <http://www.ipcc.ch/report/srex/>

暑くなると豪雨は増えるが...



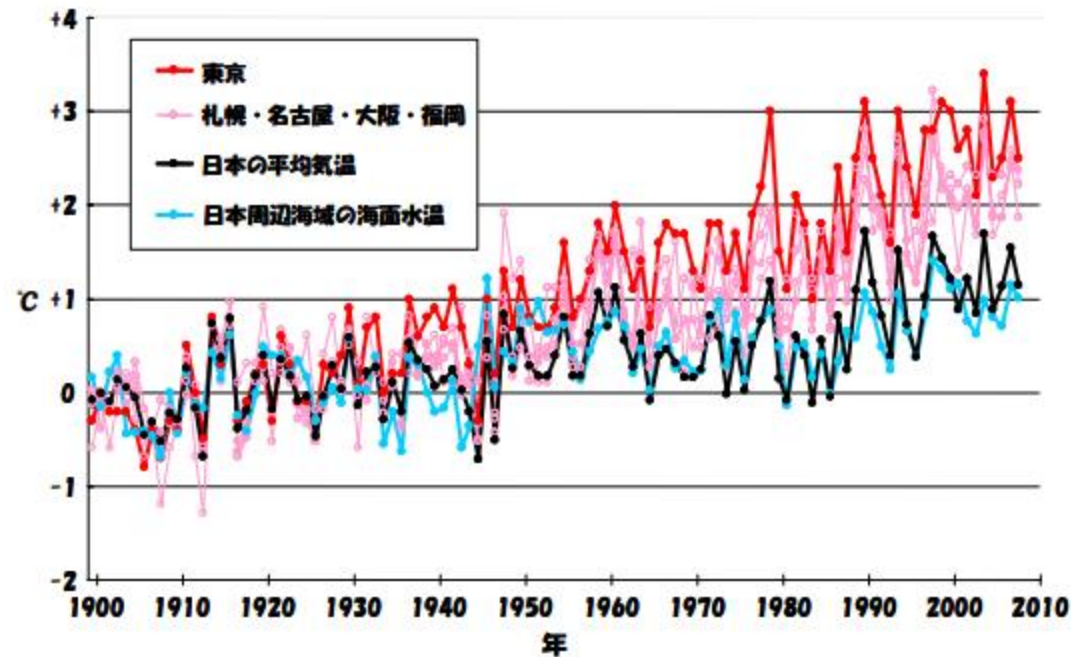
・・・適応は出来る。人は多様な気候の下で生活している。

年間平均気温



<http://ww3.ctt.ne.jp/~seijiham/butai/shizen/kisho/kishmain.html>

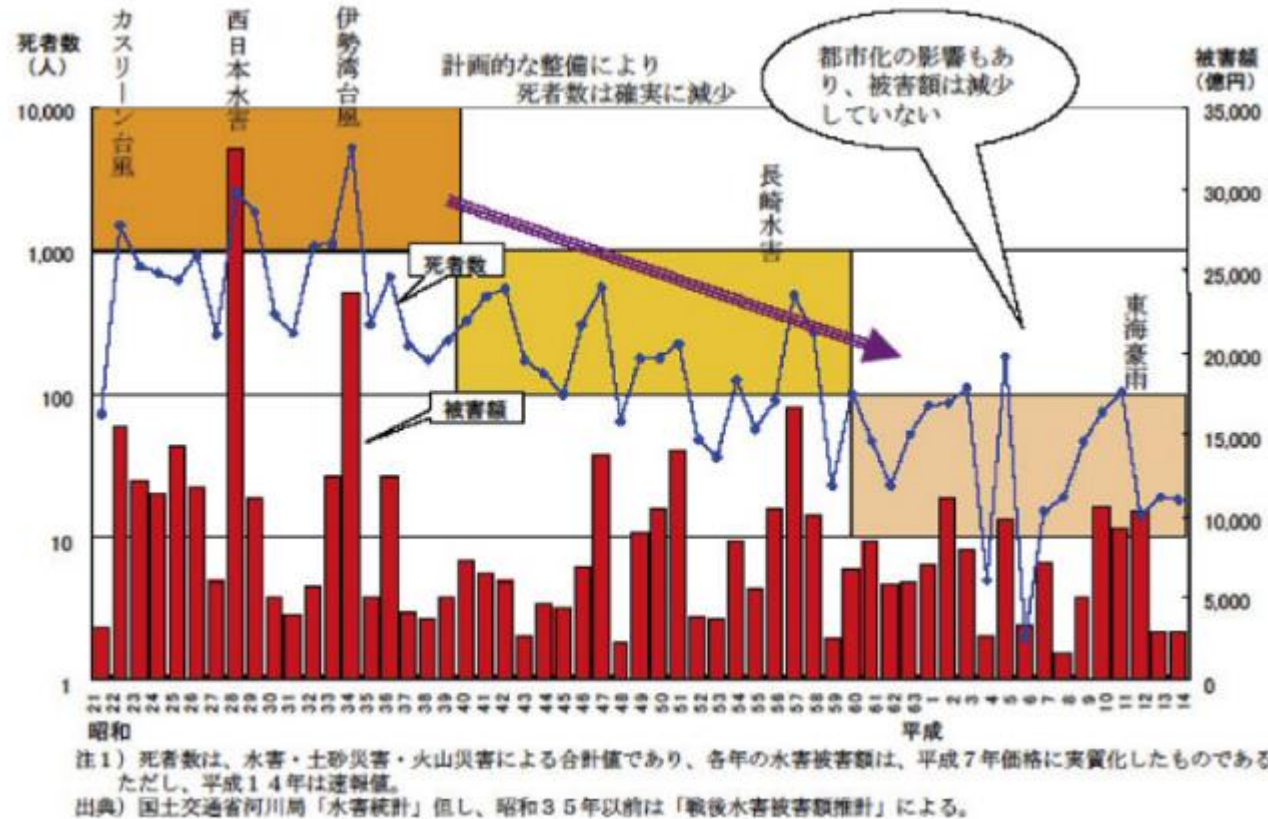
日本は1度、東京は3度温度が上がった



日本の大都市の気温、日本の平均気温、及び日本周辺海域の海面水温の推移
日本の平均気温は国内 17 地点（図 3.1.1）の平均。いずれも年平均値で、1901～1930 年の 30 年平均値からの差を示す。
作成：気象庁

人々は適応してきた

水害による死者数は減少してきた。



温暖化に適応して一定の災害対策は必要だが、悲観には及ばない。

http://www.isad.or.jp/cgi-bin/hp/index.cgi?ac1=IB17&ac2=97summer&ac3=5611&Page=hpd_view